

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

企画展示のご紹介

「発見!お茶の水スピリッツ

シンボルあれこれ ココニモ アソコニモ」

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

## REPORT

共催講演会「インドにおける仏教寺院の諸相」  
(秋山光文氏)

共催講演会「「イクメン」が日本を変える  
～多様化する現代社会の中で、イクメンは育っているのか?～」  
(石井クンツ昌子氏)

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

## INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報  
事務局よりお知らせ

企画展示のご紹介

# 「発見！ お茶の水スピリッツ シンボルあれこれ ココニモ アソコニモ」

【会期】 2013年1月29日(火)～2月4日(月)

【会場】 お茶の水女子大学歴史資料館(本館136室)

【主催】 Members of Museology



2013年1月29日(火)～2月4日(月)  
10:00～17:00, 会期中無休  
お茶の水女子大学 歴史資料館(本館136室)  
入場無料

お茶の水女子大学歴史資料館において、大学院生が手がけた企画展が開催されました。これは、大学院の副専攻「文化マネージメント・プログラム」科目群の1つである「文化マネージメント論演習」(※1)の一環として、企画から会場設営、資料管理、当日の運営に至るまで一貫して学生が行うもので、2007年から実施されています。

4回目(※2)となる今回は、「シンボル」に着目し、学外のものも含む約105点の資料が、5つのコーナーに分けて展示されました。

## 高等師範学校のシンボル

お茶の水女子大学の前身である東京女子高等師範学校を含む7つの官立の高等師範学校(男子は東京、広島、金沢、岡崎、女子は東京、奈良、広島)の校章の由来や使われた場面が紹介されました。



べた結果“茶の花”に相違ないことが確認されたがこのような誤解を招かぬよう“茶の花”の特徴を掴み、花べんのつき方を特に強調するとの事(「お茶の水女子大学新聞」昭和25年7月10日号)という、校章が決定された際のエピソードは、現在ではあまり知られていないのではないかと思います。

さらに、「比べてみよう！旧帝国大学のシンボル」と題して、京都大学、東京大学、東北大学など、他大学のシンボルマーク入りのグッズを紹介した楽しいコーナーもありました。

## お茶大のシンボル

お茶大の現在の校章は、1950(昭和25)年に学生の投票によって決められたものです。

このコーナーでは、校章のデザイン募集や決定のお知らせが掲載された「お茶の水女子大学新聞」や女高師とお茶大の両方の校章が刺繍された学校旗、2種類の徽章をつけた学生と一緒に写っている卒業写真などを通して、当時の様子を振り返りました。

「茶の花」の図案については専門家から“茨の花”のようにみられると注意があつたので植物学教室で文献、図鑑等を調



お茶の水女子大学の校章

中央に女校師の桜の校章、左端にお茶の花の校章と「お茶の水女子大学」の文字が刺繍された学校旗。竿の部分に「高島屋呉服店調製」と記されていることから、その名称が使用された1919(大正8)年から1930(昭和5)年の間に製作され、お茶の花の校章が制定された1950(昭和25)年6月以降に、大学の校章と大学名が追加で刺繍されたと考えられます。

桜蔭会館2階の歴史資料室に展示されていたこの校旗を見たことが、メンバーが「シンボル」について考えるきっかけになりました。

## 「シンボル」ってなんだろ？ と思ったあなたへ

「シンボル」とは

学校のしるし（校章）、ブランドのロゴなど私生活の周りには様々なマークがあります。そのようなマークは使っている団体を表す「シンボル」としての役割を果たしています。おもてに載っているシンボルもそのひとつ。このシンボルがわからなかったら、ぜひ足を運んでみて下さい。中には意外なところで利用されているシンボルも…!!

キャンパス内の樹木の紹介板。  
何のシンボルが使われているか分かりますか？

お茶の水のシンボル集結！


現在のお茶の水女子大学の校章だけでなく、前身である東京女子高等師範学校（女性の教員を育成していた学校）時代や附属学校のシンボル、公認サークルやお茶水グッズで使用されているマークも多数展示。あなたが見たことのないシンボルがきっとあるはず。

女子高等師範学校の学生は  
こんな格好でした！

シンボルに込められた想いとは？

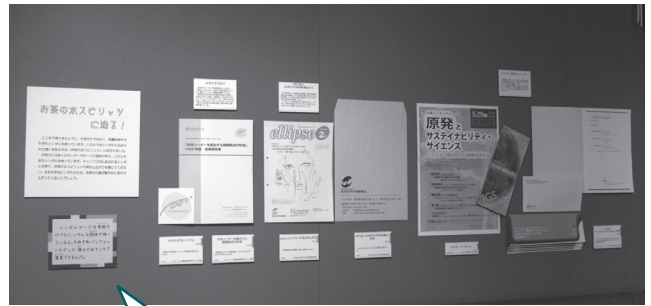
それぞれのシンボルには使われた時代や使うシチュエーションにより込められた想いがあります。シンボルの由来や歴史ももちろん、それに込められた想いも発見してみてください。

お茶の水女子大学  
〒112-0012 東京都文京区大塚2-1-1  
東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車 徒歩7分  
東京メトロ有楽町線護国寺駅下車 徒歩8分




## お茶の水スピリッツに迫る！

展示のタイトルに使われている「お茶の水スピリッツ」という言葉は、シンボルに込められたさまざまな想いや意味を表しています。このコーナーでは、学内のセンター、附属図書館、サークル、お茶水グッズなど、キャンパスにあふれるロゴやシンボルを通して、「お茶の水スピリッツ」の深さと広がりを目を向けました。



### こんなところにもひと工夫！

キャプションは、一般向けと子ども向けの2種類を作りました。子ども向けは、「こういうことだよ」と一方的に教えるのではなく、子ども自身が考えるヒントとなるような説明を心がけ、デザインや貼る高さにも配慮しました。



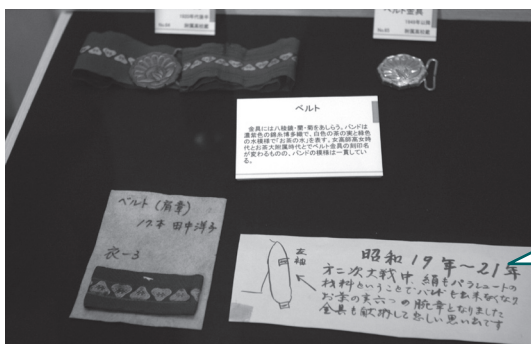
## 附属学校のシンボル

附属幼稚園、小学校、中学校、高校のシンボルを集めたコーナーでは、校旗や制服、文房具とともに、坂内青嵐 作の掛軸絵画「東京女子高等師範学校附属高等女学校生徒服装の変遷」（1934年頃）全8幅が展示されました。娘の房江をモデルに描いたといわれるこの作品が一堂に公開されることは滅多にないそうです。



展示の最後のパネルには、「お茶の水女子大学は一見するとたいへん小さな組織です。しかし、実は多様な活動に熱心に取り組む、脈々と動き続けている生命体なのです。そこには無限の可能性が広がっています。在学生はこのチャンスを大いに活かしてください。きっと今まで思いもよらなかった道が拓けてくるはずですよ。」というメッセージが記されていました。これは、今回の一連の経験を通じて Members of Museology のメンバー自身が実感したことではないでしょうか。

大学に保存されている資料が学生ならではの視点を通して見直され、意味づけられ、生かされる一、このような形で資料が継承されていくのは、とても意義のあることだと感じました。



### 附属高等女学校のベルトにまつわるこんな思い出も…

- 第二次世界大戦中、絹もパラシュートの材料ということでバンドも出来なくなり、お茶の実六つの腕章となりました。金具も献納して悲しい思い出です。
- (終戦後) もう見ることもできないと思った帯と金具をいただいたときの嬉しさ、本当に嬉しくて嬉しくて、思わず歓声を挙げたほどでございました。

## Members of Museology のお話

大学の資料を一通り見た後、夏休みの課題として全員が企画展の概要書を書き、それを元に話し合いをして今回のテーマに絞り込みました。

修士論文を執筆中のメンバーもいたので、実質的な展示の準備は年が明けてからになりましたが、前もって歴史資料館を計測し、資料の配列順序や配置、ライトの当て方などを、見る側の立場にたちながら何度も検討しなおしました。

また、私たちが展示したものをただ見るだけではなく、そこから自分のレベルでシンボルについて考えてほしいだったので、キャプションを2種類作成したり、出口のところに「かんがえてみよう、あなたとシンボル」というコーナーを設けて、紙と鉛筆を準備したりするなどの工夫もしました。

1年間を通して展示に関することだけではなく、著作権の大切さや共同作業によってもものを作り上げていくことなど、多くのことを学び、貴重な体験になりました。

## 「文化マネジメント論演習」担当 鷹野光行教授 (比較社会文化学専攻歴史文化学コース) のお話

「文化マネジメント論演習」では、大学資料委員会に登録されている資料によって、展示の企画立案から展示作業に至るまでの一切を受講生が行います。この科目自体は半年(後期)なのですが、過去の展示の経験から、もう少し時間が必要であるということで、今年は前期の別の科目から1年間を通して取り組みました。

学生はまず大学の資料をすべて見るところからスタートします。2009年の絵はがきは、高校の倉庫に保管されていた段ボールの中から学生たちが見つけ出し、上手に使ってくれました。今回はシンボルがテーマでしたが、旧帝大と比較してみようとか、お茶大の中で完結しそうなものがそうならないところがすごいと思います。

お茶の水女子大学の裾野の広さというか底力というか、大学に歴史があり様々な資料があるからこそできるわけですが、そこに学生ならではのアイデアが加わって、毎回、面白い展示ができあがっています。



一週間という短い期間にも関わらず200人を超す来場者があり、「かんがえてみよう、あなたとシンボル」のコーナーには、たくさんのフィードバックコメントが寄せられました。



鷹野先生と Members of Museology のメンバー

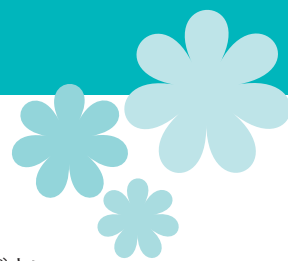
※1 「文化マネジメント・プログラム」(大学院比較社会文化学専攻の副専攻として平成18年度よりスタート)は、博物館・美術館・文書館・劇場などの運営や企画・経営を通じて社会に於ける多様な文化活動をけん引する専門職(プロデューサー、アートマネージャー等)を目指すのに必要な学習をするための履修プログラムで、選択科目も含めて120あまりの科目群が設けられています。「文化マネジメント論演習」もその1つですが、この科目自体は、副専攻履修者でなくてもとることができます。

※2 文化マネジメント論演習のこれまでの企画展示

「日本初の幼稚園～120年前の幼稚園を体験しよう」(2007年3月1日～9日)

「百万ドルの世界旅行—80年前の絵はがきは語る—」(2009年1月27日～2月1日)

「たてものが語るお茶の水女子大学」展(2011年1月25日～30日)



# お茶の水女子大学 イベント情報

2013年6月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2013年6月3日(月) ～7月31日(水)(予定)	<b>第24回附属図書館企画展示</b> 「合言葉は commons ! ～お茶大から広がる コモンズの世界～」	無料	【主催】お茶の水女子大学附属図書館 【会場】附属図書館1階キャリアカフェ横 【詳細】附属図書館のHP「企画展示」をご覧ください。 <a href="http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html">http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html</a> 【お問合せ】E-mail: library@cc.ocha.ac.jp
2013年6月29日(土) 13:30～16:00	<b>第2回 お茶大保育フォーラム</b> 「子どもの自己肯定感」 【講師】 榎原洋一氏(お茶の水女子大学大学院教授(小児科学・小児 神経学)) 安治陽子氏(お茶の水女子大学人間発達教育研究センター 講師(発達心理学))	1,000円	【主催】特別経費「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデル の構築」事業(ECCCELL) <a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/index.html">http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/index.html</a> 【会場】お茶の水女子大学本館306室 【お問合せ・お申し込み】 ECCCELL事務局 E-mail: nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp
2013年7月13日(土), 14日(日),15日(月・祝)	<b>学部オープンキャンパス 2013</b> 各学部の説明会、附属図書館・歴史資料館の見学、学生に よる相談コーナー、お茶大グッズの販売など ※スケジュールは、大学HP( <a href="http://www.ocha.ac.jp/event/open-campus_2013.html">http://www.ocha.ac.jp/ event/open-campus_2013.html</a> )に掲載されますのでご確 認のうえ、お出かけください。	無料	【お問合せ】 お茶の水女子大学 広報チーム TEL: 03-5978-5105 E-mail: info@cc.ocha.ac.jp ※事前のお申込みは不要です。
2013年7月13日(土), 14日(日),15日(月・祝) ※学部オープンキャン パスと同時開催となり ます。	<b>歴史資料館 特別公開</b> 大学の歴史や宝物を紹介する常設展示、企画展示「東京と 奈良 東西の女高師の交流」、そして、日本化学会化学遺産 に認定された黒田チカ天然色素研究関連資料をご覧いた だくことができます。	無料	【主催】お茶の水女子大学歴史資料館 【会場】お茶の水女子大学歴史資料館(大学本館1階) 【お問合せ】 お茶の水女子大学図書・情報チーム情報基盤係 E-mail: shiry@cc.ocha.ac.jp
2013年7月20日(土) 9:30～15:30	<b>お茶大ラウンドテーブル 2013</b> ～現職研修:学びあうコミュニティを創る～	無料	【主催】お茶の水女子大学社会教育主事講習 【会場】お茶の水女子大学本館306室ほか 【お問合せ】社会教育主事講習事務局 E-mail: ocha_shakyoshujikoushu@yahoo.co.jp
2013年8月22日(木) 13:30～15:00	<b>講演会「ESDとしての防災教育と東 日本大震災(仮)」</b> ESD(Education for Sustainable Development)として防災 教育に取り組んできた気仙沼市教育委員会からお二人の先 生をお招きし、学校関係者の立場から震災と復興についてお 話しをしていただきます。 本学の教職員・学生・院生を対象とした講演会です。	無料	【主催】学校教育研究部・附属学校部 【会場】お茶の水女子大学附属中学校併室 【お問合せ・お申し込み】前日までに学校教育研究部までメー ルでお申し込みください。 E-mail: info-gakko@cc.ocha.ac.jp
2013年10月～2014 年1月(後期開講)	<b>知の市場公開講座</b> 公開講座ネットワークである知の市場は2013年度に全国36 拠点で81科目を開講します。2013年度後期にお茶の水女子 大学で開講する5科目はCT303(継続:サイエンスコミュニ ケーション実践論1)、CT445(新規:化粧品科学)、CT573(新 規:現代環境法入門)、CT721(新規:韓国学1)、CT135(新 規:規範科学基礎論)、放送大学文京学習センターで開講す る2科目はCT812(新規:プロフェッショナル論)及びCT134 (新規:化学物質総合経営基礎論)です。 (詳細は知の市場HP・ <a href="http://www.chinoichiba.org">http://www.chinoichiba.org</a> 参照)	無料	【主催】お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター (増田研究室) 【会場】お茶の水女子大学共通講義棟または東京・放送大 学文京学習センター 【募集】2013年7月1日から開始 【受講応募申し込み】 ① 受講者登録 知の市場HP・ <a href="http://www.chinoichiba.org">http://www.chinoichiba.org</a> ② 科目応募申込 お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター (増田研究室) HP・ <a href="http://www.chinoichiba.org/lwwchp">http://www.chinoichiba.org/lwwchp</a> 【お問合せ】知の市場お茶大事務局 E-mail: ocha-jim@chinoichiba.org 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 Tel: 03-5978-5018、Fax: 03-5978-5096

## 共催講演会のご報告

## 「インドにおける仏教寺院の諸相」

講師 秋山 光文氏（お茶の水女子大学教授、文教育学部人文科学科）



【日時】2012年12月1日（土）14:00～16:00

【会場】お茶の水女子大学 共通講義棟2号館102号室

【主催】お茶の水地理学会 【共催】お茶の水学術事業会



留学も含め、何度もインドに調査に行かれている秋山先生は、その際に撮影なさった多くの画像資料を示しながら、釈尊在世時代から石窟寺院に及ぶ、インドの仏教寺院の変遷についてお話しください、私達の身近にある仏像や寺院が、長い時間と距離を経て現存する形態となったことが実感できました。

当日は、男性も含む幅広い年齢層から71名の参加があり、このテーマへの関心の高さが窺われました。

## 【講演要旨】

仏教の開祖・釈迦は修行の後に悟りを得て、説法を通して教えを広めていきました。釈迦とその弟子たちは、初めは定住せずに遊行していましたが、大教団化して勢力が増すにつれて、有力者から大規模な施設（祇園精舎、竹林精舎など）を寄進され、次第に安居（あんど／＼か所にこもって修行すること）をするようになりました。

釈尊の入滅後には、生前からの遺言に従って仏舍利を祀る仏塔（ストゥーパ）が造立され、初期仏教徒の礼拝対象物として最も重要なモニュメントになります。やがてマウリア朝アショーカ王（在位 BC269～232 頃）は、各地に8万4千基もの舍利塔を造営し、釈尊ゆかりの地を巡礼して訪問の記念石柱を建立しました。さらに伝導僧を各地に派遣したため、仏教文化はインド全土だけでなく周辺各地にも広がっていきました。

後マウリア朝（BC2世紀～AD1世紀）になると、各地の仏教信者達による新たな仏塔の造営や増広（拡大事業）が一般化し、次第に仏塔を中心として、僧院が付随するという伽藍の形式が定着していきます。仏塔に附属する欄盾（らんじゅん／柵のようなもの）・塔門には吉祥的な模様のほか、本生話、仏伝などの仏教説話を主題とする浮彫が施されようになりました。これが本格的な仏教美術の始まりです。

地上に建立されたインドの古代寺院は、度重なる異教徒の侵入により殆どが破壊されてしまいましたが、BC2世紀頃から人里離れた山中に造営された石窟寺院に仏教寺院が展開していく様子を見ることができます。石窟寺院は機能と形態から、礼拝対象の仏塔を安置するチャイティヤ（祠堂）窟と僧侶達の住房群であるヴィハーラ（僧院）窟に大別されます。

インド仏教文化の大きな転換点となったのは、1世紀末頃に仏像が出現したことでしょう。西北インド（ガンダーラ）ではヘレニズム文化の影響を受けて、ギリシャ的な風貌を持ち、深い衣襲の表された僧衣を通肩（両肩を覆った形）にまつた仏像が、中インド北部（マトゥラー）では、純インド的な美意識に基づき、巻貝形の肉髻、野性的な風貌で、肌に密着する衣を偏袒右肩（右肩を露出する形）にまつた仏像が作られました。さらに一世紀ほど遅れて出現する南インド（アーンドラ地方）の仏像は、マトゥラー仏の影響を色濃く反映しつつ、独自の美意識が認められます。

こうした仏像の出現により、仏塔を中心に構成されていた古代インドの仏教伽藍は、仏像を安置する仏堂を中核に構成されるようになりました。4世紀以降の後期仏教石窟寺院では、チャイティヤ窟の仏塔前面に仏龕（ぶつがん／仏像を安置しておく厨子）が設けられ、ヴィハーラ窟では仏堂奥壁中央に本尊仏が安置されています。さらに、アーンドラ地方の仏教伽藍のなかにはそれまでの礼拝対象であった仏塔を伴わない構成も認められ、時代とともに仏像礼拝が仏教文化の主流となったことを物語っています。

8世紀以降のインドでは、次第に民俗宗教であったヒンドゥーの文化が台頭し、仏教文化も変質していきます。しかしながら、古代インド以来の仏教伽藍の伝統は、門・塔・金堂（本尊仏を安置）・講堂・僧院・食堂という、日本の伽藍の構成に受け継がれていったのです。

（お茶の水地理学会 須野原 智恵子 氏）

## 共催講演会のご報告

## 「イクメン」が日本を変える

～多様化する現代社会の中で、イクメンは育っているのか?～

講師 石井クンツ昌子 氏 (お茶の水女子大学教授、家族社会学)



- 【日時】 2013年3月9日(土) 14:00～16:00
- 【会場】 ウィルあいち(名古屋市東区) 1階セミナールーム
- 【主催】 公益財団法人あいち男女共同参画財団
- 【共催】 お茶の水学術事業会
- 【参加】 72名

平成22年12月に第三次男女共同参画基本計画が策定され、特に「男性にとっての男女共同参画」という視点が強調される中、最近よく耳にするようになった“イクメン”という言葉を鍵に、石井クンツ昌子先生にお話いただきました。

最初に、現代日本における女性・男性を取り巻く環境の変化が述べられました。警備会社のCMIに女性レスリング選手が起用され、「肉食系女子」・「猛禽系女子」といった表現が用いられるなど、強い女性のイメージが多くなる一方で、男子の就職率が低い「男性不況」という状況があります。こうした変化の中で、女性が力を十分に発揮することができる環境が日本経済にとっても重要であり、それには「育児をすることが格好いと思っている男性」＝イクメンの活躍が必要です。

こうした認識から、日本政府も国を挙げて体制を整え、育児休業制度の利用などによる男性の家庭への参加を推し進めようとしています。さらに、女性が働くことについても、起業から再就職・キャリア形成など様々な面での支援があることを例示してくださいました。

それに対して現状はどうかということについて、固定的性別役割分担意識に関するアンケートや男女別高等教育進学率などの様々なデータを基にお話がありました。日本では、男性の方がより伝統的な価値観を固持しており、他の先進諸国に比べて男女の格差が大きいこと、また、女性にとっては家庭と仕事の両立が壁となっている一方で、男性が家庭生活に積極的に関わりたいと考えても、現実には仕事中心とならざるを得ないという現状も見えてきます。夫の長時間労働の減少や育児・家事への参加が妻の就労を後押しするとともに、妻の就労が夫に育児・家事参加を促すという相関関係も読み取れますが、育児休業の取得率や取得期間に表れているように、日本では男女間の格差が非常に大きいのが現状のようです。

父親の育児参加は、社交性の向上など子どもへの影響、育児不安やストレス軽減などの妻への影響、子どもに関する話題

でのコミュニケーション増加などの夫婦関係への影響、そして育児を通して自身の成長や、行動の読めない子どもに接することでの柔軟性獲得などの父親自身への影響と、様々な面でポジティブな結果を生んでくれます。こうした状況を実現するためには、育休を取った父親への育児ストレスや不安・孤独感を解消するなどのフォローや、現在の育児世代だけではなく将来のイクメン世代に男女共同参画を伝えるため、実践的な父親の役割を教えるような家庭科教育が必要だと強調されていました。

イクメンという言葉は定着しつつありますが、現状では行動が伴っていません。“イクメン”という流行語に注目が集まるような社会ではなく、育児をする父親が当たり前である社会になればならないとまとめられた今回の講演は、非常に濃い内容でした。また、先生が挟まれる冗談に笑い声も上がるなど、リラックスした雰囲気でも自然に理解を深めることができるものでした。

石井先生も「男女共同参画は講演から帰って始まる」と話されていましたが、講演終了後のアンケートでは「家事、育児などに参加しなければ」「(家事を) やってもらったら感謝を伝える」などさっそく実践の決意の感想をいただきました。

(公益財団法人あいち男女共同参画財団 稲垣 智子 氏)

## 石井クンツ昌子氏 近著

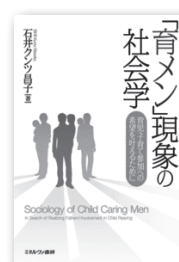
『「育メン」現象の社会学～育児・子育て参加への希望を叶えるために～』

ミネルヴァ書房(2013年4月25日発行) 定価: 3,150円(税込)

どのような環境や意識があれば、父親は育児・子育てにかかわれるのか。いま、どのように育児や子育てにかかわっているのか。ポジティブ家族社会学の視点から「育メン現象」の実態を解明し、米国との国際比較を通して今後の方途を探る1冊です。

## 〈目次〉

- 序章 育メンとは
  - 第1章 育メンの歴史的背景
  - 第2章 育メンの社会・文化・政治的背景
  - 第3章 育メン現象と社会学理論・研究手法
  - 第4章 どのように育メンになるのか
  - 第5章 育メンがもたらすもの
  - 第6章 育メンの多様性
  - 終章 育メン研究から何を学べるのか
- おわりに



## 夢のつばさ♥プロジェクトニュース

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的に、お茶の水学術事業会を中心にNPO法人4団体の協力によって進められています。

2012年秋冬は、学校の長期休みに子どもたちとキャンプ活動を行ったほか、保護者の方たちとの懇談会を実施しました。

## ① 東日本大震災孤児・遺児の保護者との懇談会（第二回）

【実施日】2012年11月3日（土）

【参加者】東日本大震災孤児・遺児の保護者4名、  
河野貴代美氏、室伏きみ子、滝澤公子

【内容】5月の第一回懇談会の際に参加者の方々と交わした、再会の約束を果たすため、心理カウンセラーの河野貴代美氏（元お茶の水女子大学教授）とともに仙台市を再訪しました。

震災から一年半が過ぎ、復興に向けて様々な取組みが始まっているなどと報道されるようになりました。一方で、そうした中で「復興格差が広がっているのではないかと」と孤立感を深め、「自分は不公平な状況に取り残されている」といった不満や焦燥感を持つ方もあって、保護者の方たちも軋轢を感じながら日常生活を過ごしていらっしゃいました。

河野氏はフェミニストカウンセリングの長い経験をお持ちで、その行き届いた対応に、皆、打ち解けてお話が進みました。夢のつばさスタッフが、利害に関係のない立場でお話を聞き出すことによって、保護者のお気持ちを少し和らげることができるよう感じました。

夢のつばさ♥プロジェクトに集う子どもたちが置かれている現地の状況を少しでも理解し、保護者の方々の抱えるストレスを軽減する機会として、今後もこのような懇談会を続けていきたいと考えています。



◆ 茶道体験

## ② 2012年度冬キャンプ

【実施期間】2012年12月24日～27日

【開催地】(株)ブリヂストン軽井沢保養所

【参加内訳】子ども:16名（募集締切時20名）、学生ボランティア:31名、その他スタッフ・協力者16名

【主な内容】

12月24日	開会式、軽井沢銀座散策
12月25日	朝の勉強会、クリスマスパーティ準備（飾り付け、クッキー作り）、クリスマスパーティ、サンタクロース登場、アカペラ音楽会
12月26日	勉強会、茶道体験、カルタとり大会
12月27日	閉会式、写真スライドショー、保養所管理人へ子どもたちから感謝のカードプレゼント

キャンプも5回目となり、子ども同士につながりが生まれて、とても楽しく過ごしています。クリスマスパーティの準備は、子どもたちと大学生が協力して行いました。茶道体験では、いつもは少し落ち着かない男子小学生も集中してお茶を点て、気持ち



◆ クリスマスパーティ

ち良い時間を過ごしました。このキャンプが、助け合い学び合う場となるよう、さらに心がけて活動したいと考えています。（夢のつばさ♥プロジェクト事務局 滝澤公子）

### ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店（店番号227）普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子（この口座は、夢のつばさ専用口座となっております）  
ご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせくださいませ。  
領収書をお送りいたします（恐縮ですが税金の控除になりません）。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org



# 特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 2012年度活動報告



お茶の水学術事業会は、「社会貢献」・「大学との連携」をキーワードとして、様々な活動に取り組んでいます。  
2012年度の主な活動を紹介します。

## 1. 特定非営利活動にかかる事業

### (1) 国内学会の企画運営、国際学会等の準備事業

#### 【学会等の事務代行業務】

アジア政経学会、全国大学国語国文学会、日本近代文学会、  
日本唾液腺学会、表現学会、舞踊学会、  
関根賞、竹村和子フェミニズム基金

### (2) 講演等の講師派遣斡旋等事業

#### 【講師派遣】

##### ◆桜蔭会山形支部 講演会

「宮沢賢治 東北から世界へのメッセージー世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ないー」

講師：大塚常樹氏

開催日：2012年6月30日

#### 【共催講演会】

##### ◆「インドにおける仏教寺院の諸相」(→P6)

講師：秋山光文氏

開催日：2012年12月1日

主催：お茶の水地理学会

参加：71名

##### ◆「イクメン」が日本を変える～多様化する現代社会の中で、イクメンは育っているのか?～(→P7)

講師：石井クンツ昌子氏

開催日：2013年3月9日

主催：公益財団法人あいち男女共同参画財団

参加：72名

### (3) 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業

#### 【夢のつばさ♥プロジェクト】

#### 【助成金事業】

「教職を志望する学部生・院生の支援事業」

主催：NPO法人 教師の第三の学び研究会

開催期間：2012年4月2日～2013年3月31日

実施場所：お茶の水女子大学及び都内公立学校

#### 【報告書・講演録・ちらし等作成】

- 第4回アフガニスタン復興支援国際シンポジウム「アフガニスタンの女子教育支援：ノンフォーマル教育の視点から」(発行：お茶の水女子大学グローバル協力センター)



- 「東ティモール：地域社会（コミュニティ）からの紛争予防、平和構築」(発行：お茶の水女子大学グローバル協力センター)

- お茶の水女子大学公開連続講演会「リーダーシップ論」第六回「社員と共に創り上げたビジョン」(発行：お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター)



- 「一コーヒーポリフェノールの可能性2ー紫外線の障害と炎症の制御」(発行：ネスレ日本株式会社) ほか

#### 【HP作成・管理請負】

- 認定遺伝カウンセラー制度委員会

- 遺伝カウンセリング・ジャパン

#### 【受託販売】雅 Grace

### (4) 学術関連等の出版事業

#### ◆E-book サービス製本版

『近世日本の儒教思想ー山崎闇斎学派を中心として』

『古今和歌六帖全注釈 第一帖』

### (5) 女性事業家・起業家育成のためのセミナー、シンポジウムの開催

#### ◆「女性のためのパソコン教室～スキルアップで仕事に強くなろう」

共催：文京区男女協働・子ども家庭支援センター担当課

実施日：基礎コース 2012年6月18・19日、

応用コース 2012年6月25・26日

参加：《基礎》出席19名、《応用》出席17名

### (6) 機関紙の発行

- ◆会報「ellipse」第28号～30号

## 2. その他事業

#### 【企画販売】

- ◆お茶大ゴルフ、クリアファイル・絵葉書き等の販売

※お茶の水ブックレット・雅 Grace・お茶大

ゴルフ・絵はがき・クリ

アファイルは、お茶の水学術事業会 HP (<http://www.npo-ochanomizu.org/>) 「お茶大関連グッズ」タブ内の「ご注文フォーム」からもご注文いただくことができます。



## お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

### 平成 25 年度共催講演会・助成金事業の応募を受け付けています!

お茶の水学術事業会では、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一環として、以下の事業を行っています。

#### 1. 講演等の共催事業

参加予定人数 50 名以上の公開講演会に対して、講師のご紹介、謝礼金・交通費の一部助成などを行います。

#### 2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業

教育関係者または団体の行う以下の活動・事業に対して助成金（事業費の2分の1以内、1件につき10万円まで）を支給します。

(1) 学術・調査・研究・教育等の活動 (2) 学術関連等の出版事業  
(3) 国内及び海外におけるボランティア活動 (4) 国際協力研究・教育支援事業 (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

#### 【応募要項】

お茶の水学術事業会のHP (<http://www.npo-ochanomizu.org/>) 「共催・助成金」をご覧ください。

【審査方法】 理事会による書類審査を経て決定します。

【お問合せ・申請先】 お茶の水学術事業会事務局

Email : [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)

TEL : 03-5976-1478 (月～金 10 時～16 時)

## 「お茶の水女子大学 E-book サービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>

お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料で PDF 閲覧またはダウンロードできます。

#### ◆ オンデマンド出版による製本版 (有料) のご購入

「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会 HP 内「E-book ご注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>) よりご注文ください。(お申込みから納品まで1か月程度かかります。)

### Book List

『近世日本の儒教思想—山崎闇斎学派を中心として』(2012年3月)

著者：高島元洋、大久保紀子、長野美香

製本版価格：21,000 円 (2 冊組)

『古今和歌六帖全注釈 第一帖』(2012年3月)

著者：古今和歌六帖輪読会 (代表：平野由紀子)

製本版価格：10,000 円

※「お茶の水女子大学 E-book サービス」は、お茶の水女子大学とお茶の水学術事業会が連携して運営しています。

## ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分 cPA (シービーイー) は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。

雅Graceは cPA を配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子 (お茶の水女子大 教授) 監修

新成分  
**cPA**  
配合

肌のヒアルロン酸増加

保湿成分

コラーゲンの働き強化



売り上げの一部は、  
大学へ寄附されます

雅Grace 定価 (税込)

グレイス化粧水 (150ml) 6,300 円

グレイス乳液 (100ml) 7,350 円

グレイス美容液 (30ml) 9,450 円

※写真は、グレイス化粧水 150mL です。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。  
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail : [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org) TEL & FAX : 03-5976-1478

## お茶大ゴルフ 好評発売中!!



- 6袋 (計12枚) 入
- ばにら・ちょこ・いちご味
- 定価 600 円 (税込)
- 発送も承っております (送料はお客様負担となります)。

お茶の水ブックレット・お茶大ゴルフのご注文はお茶の水学術事業会事務局まで  
E-mail : [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org) TEL & FAX : 03-5976-1478

## 編集後記

シンボルマークの企画展の中で、お茶大のことを「脈々と動き続けている生命体」と表現していたのが、新鮮で印象に残りました。Members of Museology の真摯な姿勢は言うまでもなく、「ellipse」に掲載されているさまざまな情報、あるいは青々とした葉を茂らせる本館前の銀杏並木・・・など、その後、折に触れて「生命体」としてのお茶大を実感することがあり、何だか嬉しくなります。

### 広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2013 年 10 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

## 事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204  
TEL & FAX 03-5976-1478 E-mail : [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)  
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部3号館204

### ◆交通機関

地下鉄 丸の内線  
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線  
護国寺駅から徒歩8分

都バス  
大塚2丁目バス停すぐ